



新提案

家族とともに、そだついえ。

HEBEL HAUS

# Famit



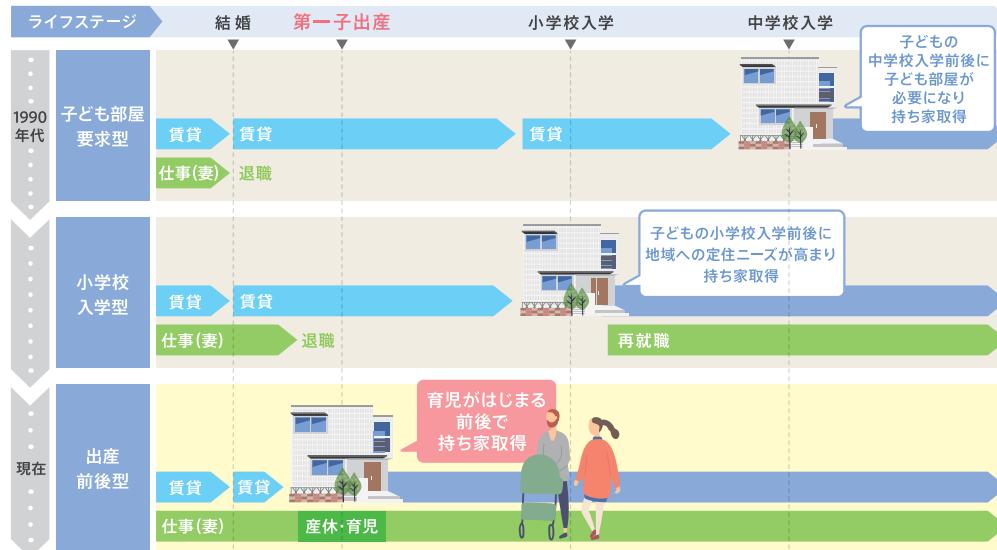
HEBEL HAUS

# 家族の未来を考えること。 それが家づくりのはじめの一歩です。

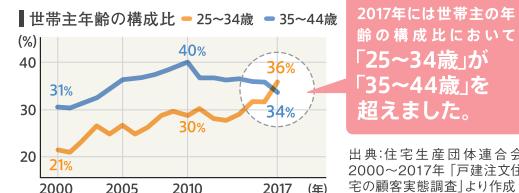
子どものこと、仕事のこと、社会の変化のこと、人生100年時代と言われる今の時代にあったこれからの住まいのカタチとは?  
近年の家族の変化と価値観などをもとに、現代の家族にとっての、理想的な住まいのカタチについて考えましょう。

データ	家づくりの現状
持ち家取得のタイミングが早まっています!	

## I 居住スタイルと働き方の変化



1990年代の夫婦は、出産や子どもの成長に合わせて、家を移り住むのが主流。持ち家の取得は「ライフスタイルがある程度安定してから」が多数派でした。対して現在は、第一子出産のタイミングで自宅を建てる層が増加しています。このことから「ライフスタイルの変化を考慮した家づくり」が、より求められる時代になったと考えることができます。



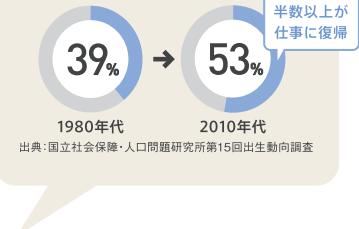
## [背景データ] 夫婦の働き方も変化

持ち家取得の早期化は、共働き家族の増加が大きく関係していると考えられます。出産後、会社に復帰する女性も増え、生活の基盤を早く固めておくメリットも以前よりも増しています。

### 共働き世帯数の推移



### 第一子出産前後の妻の就業継続の割合



アンケート	家づくりの意識
「今」の不安に応え、「ずっと住める」安心感を求めている。	

## Q 家づくりのきっかけは?



第一子出産前後にヘーベルハウスを新築されたお客様に、旭化成ホームズ株式会社「共働き家族研究所」がアンケート調査したところ、現在の若年層の家づくりの価値観が見えてきました。

## Q 長持ちする住宅の価値とは?



## Q 家づくりの際、将来について考えたことは?

### 早く建てるメリットはコレ! /

子どもが小さいうちに建てたので 子どもの記憶に残る家になったと思う

子どもの就学前に 建てたので、 地域コミュニティが つくりやすかった

早めにローンを 終わらせることにより、 後半生活に余裕ができる

### 解決したい不安はコレ! /

ライフスタイルが定まらないから、 間取りが確定しづらい

もし転勤などがあったら そのときの家の 扱いが不安

修繕費などの 維持費が必要

調査目的:「30~40 DEWKS(25~34歳の第一子出産前後に持ち家を取得した共働き世帯)」の持家取得の意識調査と設計検討  
調査時期:2018年6月  
調査方法:WEBアンケート調査の実施と当社共働き家族研究所の過去の調査内容より考察  
回収数:184件  
分析対象:2013~2017年に建築請負契約をした 25~34歳の共働き夫婦

家族の将来のことを見据え、子どもの成長や家族の変化、将来の不安に備える家づくりが大切です

# 暮らしやすさにこだわり、 これからの家族の変化に柔軟に対応できる家

HEBEL HAUS

## Famit

子どもの成長期から、夫婦の老後の暮らしまで。

家族の未来を考えたとき、

安心して暮らし続けられる住まいの条件は、

「ライフステージの変化に対応できる、

柔軟性、可変性がある」こと。

ヘーベルハウス「Famit」は、

例えば2つの空間活用で

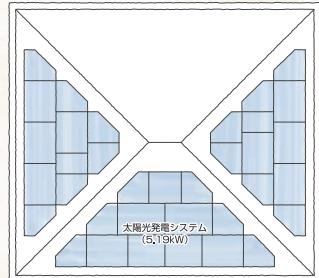
あらゆる未来に対応します。



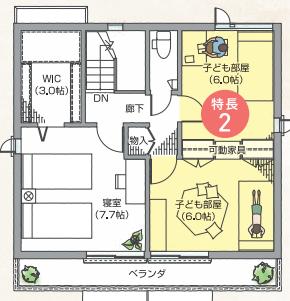
1F



RF



2F



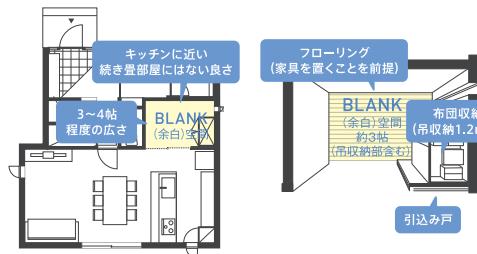
[ Famit PLAN ]

特長  
1

LDKに自由な余白をプラスする  
ライフステージに合わせて自由に使える



## 「BLANK」



LDKに隣接する約3帖程度の活用自在な省空間。お子さまが幼い頃はキッチンから目が届く安心な育児やあそびのスペースとして、大きくなれば学習スペースとして、またお子さまが独立した後は夫婦の趣味のスペースとして、家族のライフステージに合わせて柔軟に使えるうれしい空間です。

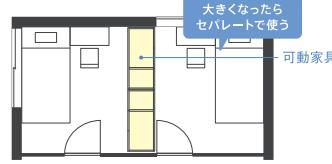
特長  
2

WIDEに使う > SEPARATEで使う  
子どもの成長に合わせてカタチを変える

## 「子ども部屋」



SEPARATE  
>>>>>>>



子ども部屋に、可動家具を採用することで、限られた空間を有効活用。幼少の時期は、兄弟姉妹でワイドに共用していた部屋を、大きくなったらそれぞれの個室としてセパレートを使うなど、子どもたちの成長に合わせて部屋のレイアウトを自由に変えられます。

# ライフステージの変化に柔軟に対応する 「BLANK」の活用をご紹介

life stage

家事をしながら  
いつでも見守れる



life stage

思うぞんぶんおもちゃを  
ひろげても大丈夫



BLANK空間活用

キッチンからちょうどいい距離で、子どもを寝かせたりおむつ替えをするのに最適。



BLANK空間活用

子どもたちが自由にのびのびとあそべる空間をつくることで、知恵や工夫がすくすく育ちます。



life stage

リビング学習が  
学習習慣を育む



life stage

子どもが大きくなれば  
親が自由に使える空間に



BLANK空間活用

リビング学習のスペースに。疑問に答えたり、頑張りをほめたりすることでやる気を与えます。



BLANK空間活用

子どもが大きくなってひとりで過ごす時間が増えれば、BLANKは親のスペースに。



※掲載の写真はイメージです。実際のプランとは異なります。

Famitについて  
詳しく  
知りたい方は…

新提案

## Famitのカタログを展示場でプレゼント！

ご家族にぴったりのプラン作成、おトクな資金シミュレーションなどお気軽にご相談ください。展示場でお待ちしております。

